

# 防犯まちづくりのための 調査の手引き

## 〈実践編〉



みまもり量調査



車の通り抜け調査



くらがり調査



身近な公園調査

独立行政法人 建築研究所

## 手引きの使い方

建築研究所では、2009年に『防犯まちづくりのための調査の手引き』(右図)を作成しました。これは、防犯まちづくりの現場において、交通安全の視点も含めて、地域の課題を客観的に把握するための手法を紹介したものです。  
その「実践編」である本書は、上記手引きを使って、実際の調査に取り組んだ2事例を紹介するものです。みまもり量調査は実際の調査をふまえて、手法を詳しく解説しています。本書を参考に、各地域の特性を踏まえた調査を行ってください。

旭川市近文地区		松山市久米地区	
みまもり量調査	くらがり調査	車の通り抜け調査	身近な公園調査



「防犯まちづくりのための調査の手引き」の電子版は、建築研究所のホームページで入手できます。  
(右側は表紙表)

## 調査事例の紹介

### 旭川市近文地区

近文地区は旭川市内の住宅や商業、業務用建物が混在した地区(1小学校区)です。2004年の大規模ショッピングセンターの出店をきっかけに、小学校での防犯や交通安全に関する取り組みが始まり、その後、町会福祉協議会をコーディネータに自治会や小中学校、高校などが連携して体系的にみまもり活動(近文あい運動)を行ってきました。



### 松山市久米地区

久米地区は松山市の南東部、市役所から約5kmに位置する郊外住宅地で、4小学校区(1中学校区)に跨ります。2004年度以降、公民館が主体となって安全マップづくりに取り組み、公営の親通し改善や街灯の増設などを行って来ました。2009年度は、前年の安全マップを受けて、久米小学校周辺の通過交通、福音公園の不安を重点課題に挙げていました。



**くらがり調査**  
夜間の調査は、防犯まちづくりの重要な要素です。夜間の歩行者の歩行速度や歩行パターンを把握し、歩行者の安全確保に貢献します。

**車の通り抜け調査**  
車の通り抜け調査は、交通安全の観点から重要な調査です。車の通行量や歩行者の歩行速度を把握し、歩行者の安全確保に貢献します。

**身近な公園調査**  
身近な公園調査は、地域の課題を把握し、防犯まちづくりの推進に貢献します。

**調査後の取り組み**  
調査の結果を基に、地域の課題を把握し、防犯まちづくりの推進に貢献します。

## 防犯まちづくり

2008年にエリアマネジメント活動の一環として、安心して暮らせるまちにするために「地域防犯活動からはじめるまちづくり」の進め方、活動の実践等をまとめた。2009年には交通安全の視点も含めて、地域の防犯まちづくり上の課題を把握するため「防犯まちづくりのための調査の手引き」をまとめた。2010年には「同手引き」に基づき実際の調査に取り組んだ2地区の事例を「実践編」として紹介する研究資料・パンフレットをまとめた。

発注者 国土交通省、(独)建築研究所

工期 2007~2010年